

## 2007高校総体 アーチェリー大会

# 女子団体の部 高志館高校（佐賀県代表）が全国制覇



賜杯授与後に高円宮妃殿下との記念撮影  
男子団体優勝チームは大分東明高校

11日大会最終日、女子団体競技の部で佐賀県代表の高志館高校（予選7位通過）が決勝戦で兵庫県代表の強豪・甲南女子高校（予選1位通過）を171点対167点でやぶり、悲願の優勝を果たしました。刺すような強い日差しと気温ぐれに吹く風といった過酷な

多都市陸上競技場を会場に8月8日から11日まで全国高校総体アーチェリー競技が開催され、全国道府県代表男女170チーム、選手・役員700名が集い、熱戦を繰りひろげました。

# Sports news

条件のなか、全国各地からの代表選手たちは時おり深呼吸をして70m先を見据えては矢を1本ずつ、確実に的を射抜いて行き、期待どおりのハイレベルな技を見せてくれました。そして最終決勝戦、地元代表の高志館の3人の選手が的を射止めるたびに観客席からは声援が飛び、優勝が決まった会場は祝福の拍手と歓声に包まれました。試合終了後の表彰式では、ご観戦になられた高円宮妃久子様から賜杯を授与され、妃殿下のご希望で記念写真を一緒にいただく感激的一幕もありました。なお、男子団体の部では厳木高校が7位に入賞し、強豪の意地を見せました。

### 個人戦男子は吉永選手

### （厳木高校）が準優勝

10日に行われた個人決勝ラウンドでは、厳木高校の吉永弘幸君（予選4位通過）が決勝戦まで勝ち進み、愛知県代表・愛知産大三河高校の板野選手（予選3位通過）との勝負になりましたが、109点対98点の僅差で準優勝となりました。個人戦では予選参加が男子が219名、女子が216名。このうち上位



個人準優勝の吉永弘幸選手（厳木高校）

64名までしか決勝トーナメントに進めない、わずかに1点が明暗を分ける戦いでしたが、強豪ぞろいの中で佐賀県勢は男子4名、女子6名が予選を突破するなど、佐賀県のレベルの高さをあらためて認識させるものでした。来年は埼玉県が会場となりますが、関東の地でも、両校の選手たちが表彰台に立つことを確信させてくれる大会でした。そしてここに集まった選手の中から、日本代表選手として世界で活躍する者が必ずいるはずですよ

